

1.	①	11.	③	21.	②	31.	②	41.	②
2.	④	12.	①	22.	②	32.	④	42.	①
3.	③	13.	①	23.	①	33.	④	43.	②
4.	①	14.	③	24.	②	34.	①	44.	③
5.	②	15.	④	25.	③	35.	③	45.	③
6.	②	16.	④	26.	③	36.	①	46.	②
7.	①	17.	①	27.	①	37.	③	47.	②
8.	③	18.	③	28.	②	38.	②	48.	③
9.	②	19.	③	29.	③	39.	④	49.	④
10.	②	20.	①	30.	①	40.	①	50.	④

1.

解答 ①

【解説】

正解は①「～の前に」です。「before」は、時間的に「～より前に」、場所的に「～の正面に」という意味を表す前置詞・接続詞です。副詞として「以前に」という意味でも使われます。②「～の後ろに」は behind や after、③「～の間に」は between、④「～のまわりに」は around です。

◆補足：「Please wash your hands before dinner.」は「夕食の前に 手を洗ってください。」という意味です。語順は「～ください(Please) → 洗う(wash) → あなたの手を(your hands) → 夕食の前に(before dinner)」です。日常生活でよく使われる表現です。

2.

解答 ④

【解説】

正解は④「mine」です。「mine」は「私のもの」という意味の所有代名詞です。①「my」は「私の～」と後ろに名詞が続く形、②「me」は「私を、私に」、③「I」は「私は、私が」と、文の中での役割(格)によって形が変わります。mine は「my + 名詞」を一つで表せる便利な言葉です。

◆補足：「This book is mine.」は「この本は 私のものです。」という意味です。「This is my book.」とほぼ同じ意味になります。語順は「この本は(This book) → です(is) → 私のもの(mine)」です。

3.

解答 ③

【解説】

正解は③「junior」です。「junior」は、「年下の、後輩の、下級の」という意味の形容詞です。junior high school（中学校）のように使われますね。他の選択肢は、①「senior」が「年上の、先輩の」、②「young」が「若い」、④「old」が「年をとった、古い」です。

◆補足：「He is a junior high school student.」は「彼は 中学生です。」という意味です。語順は「彼は(He) → です(is) → 一人の中学生(a junior high school student)」となります。このように、複数の単語で一つの名詞のかたまりを作ることがあります。

4.

解答 ①

【解説】

正解は①「2 度、2 回」です。「twice」は、回数を表す言葉で「2 度、2 回」という意味です。ちなみに②「1 度」は once、③「3 度」は three times と言います。4 回以上は「数字 + times」で表します。④「2 倍」も twice で表すことがありますが、主な意味は回数です。

◆補足：「I go to the gym twice a week.」は「私は 週に 2 回ジムに行きます。」という意味です。語順は「私は(I) → 行く(go) → ジムへ(to the gym) → 週に 2 回(twice a week)」です。「～ a week」で「一週間につき～」という頻度を表せます。

5.

解答 ②

【解説】

正解は②「angry」です。「angry」は、腹を立てて「怒っている」状態を表す形容詞です。他の選択肢は、①「happy」が「幸せな」、③「sad」が「悲しい」、④「fun」が「楽しい」です。人の感情を表す基本的な言葉をまとめて覚えましょう。

◆補足：「Why are you so angry?」は「なぜ あなたはそんなに怒っているのですか。」と理由を尋ねる文です。語順は「なぜ(Why) → ですか(are) → あなたは(you) → そんなに怒っている(so angry)」です。「Why...?」で理由を尋ね、「Because...」で理由を答えるのが基本の形です。

6.

解答 ②

【解説】

正解は②「午前」です。「a.m.」は、ラテン語の ante meridiem の略で、「正午より前」、つまり「午前」を意味します。時刻の後ろにつけて使います。①「午後」は p.m.、③「正午」は noon、④「真夜中」は midnight です。

◆補足：「I get up at 7 a.m. every morning.」は「私は 毎朝午前7時に起きます。」という意味です。語順は「私は(I) → 起きる(get up) → 7時に(at 7 a.m.) → 毎朝(every morning)」です。a.m.は「エーエム」と読みます。

7.

解答 ①

【解説】

正解は①「悲しい」です。「sad」は、がっかりしたり、つらいことがあったりして「悲しい」気持ちを表す形容詞です。②「うれしい」は happy や glad、③「楽しい」は fun、④「恥ずかしい」は shy や embarrassed と言います。

◆補足：「That story makes me sad.」は「その物語は 私を悲しくさせます。」という意味です。語順は「その物語は(That story) → させる(makes) → 私を(me) → 悲しく(sad)」です。「make + 人 + 感情」で「(人) を～な気持ちにさせる」という表現ができます。

8.

解答 ③

【解説】

正解は③「little」です。「little」は、大きさが「小さい」ことや、数えられないものの量が「少しの」という意味を表します。他の選択肢は、①「many」が数えられるものが「たくさん」、②「few」が数えられるものが「少し」、④「much」が数えられないものが「たくさん」という意味で、量を表す大切な言葉たちです。

◆補足：「a little」の形で「少しの～」という意味でよく使います。例えば、「I speak a little Japanese.」は「私は 少し日本語を話します。」という意味です。語順は「私は(I) → 話します(speak) → 少しの日本語を(a little Japanese)」となります。

9.

解答 ②

【解説】

正解は②「share」です。「share」は、一つのを複数の人で「共有する、分け合う、一緒に使う」という意味の動詞です。部屋を共有したり、食べ物を分け合ったり、情報を共有したりと幅広く使えます。他の選択肢は、①「give」が「あげる」、③「take」が「取る」、④「have」が「持っている」です。

◆補足：「Let's share this pizza.」は「このピザを 分け合って食べましょう。」という意味です。語順は「～しましょう(Let's) → 分け合う(share) → このピザを(this pizza)」となります。友達との食事の場面などで使える便利な表現ですね。

10.

解答 ②

【解説】

正解は②「tired」です。「tired」は、運動や仕事の後などで「疲れている」状態を表す形容詞です。他の選択肢は、①「happy」が「幸せな」、③「angry」が「怒っている」、④「sad」が「悲しい」と、人の感情を表す基本的な言葉です。

◆補足：「I am very tired today.」は「私は 今日とても疲れています。」という意味です。語順は「私(I) → です(am) → とても(very) → 疲れている(tired) → 今日(today)」です。自分の体調や気持ちを伝えるときに使えます。

11.

解答 ③

【解説】

正解は③「excited」です。(人が)何かに対して「わくわくして、興奮して」いる気持ちを表す形容詞です。一方、①「exciting」は、試合や映画などの物事が「わくわくさせるような」と、原因を表すときに使います。人の感情には-ed、物の性質には-ing、と覚えるのがコツです。②「interesting」は「おもしろい」、④「surprised」は(人が)「驚いている」という意味です。

◆補足：「I am excited about the trip.」は「私は その旅行のことでわくわくしています。」という意味です。語順は「私(I) → です(am) → わくわくしている(excited) → ～について(about) → その旅行(the trip)」です。人の感情を表すときには-ed の形を使うことを覚えておきましょう。

12.

解答 ①

【解説】

正解は①「いっぱいの、満腹の」です。「full」は、容器などが物で「いっぱいの、満ちた」状態や、食事をして「お腹がいっぱいの、満腹の」状態を表す形容詞です。反対の言葉は②「空の(empty)」です。

◆補足：「Are you full?」は「お腹はいっぱいですか。」と尋ねる表現です。食事の場面でよく使われます。もしお腹がいっぱいなら「Yes, I'm full.」と答えることができます。

13.

解答 ①

【解説】

正解は①「すべてのこと、もの」です。「everything」は、「あらゆること、すべてのもの」を指す代名詞です。every(すべての)と thing(こと、もの)がくっついた単語ですね。②「だれでも」は everyone、③「どこでも」は everywhere、④「いつでも」は anytime です。

◆補足：「Is everything OK?」は「すべて順調ですか？、大丈夫ですか？」と相手の様子を気遣うときに使う表現です。返事をするときは「Yes, everything is fine.」のように答えます。「everything」は「すべて」という意味ですが、一つのかたまりとして考えるので、動詞は is のように単数形で受け取ります。

14.

解答 ③

【解説】

正解は③「healthy」です。「healthy」は、病気でなく「健康な」状態や、体に良いことを表す形容詞です。名詞の「health(健康)」に y がついた形です。他の選択肢は、①「sick」と④「ill」が「病気の」、②「weak」が「弱い」という意味で、不健康な状態を表します。

◆補足：「It is important to eat healthy food.」は「健康的な食べ物を食べることは大切です。」という意味です。語順は「それは(It) → です(is) → 大切な(important) → 食べること(to eat) → 健康的な食べ物を(healthy food)」です。この文の It は「～すること」という内容を指す仮の主語です。

15.

解答 ④

【解説】

正解は④「dirty」です。「dirty」は、服や部屋などが「汚い、汚れた」状態を表す形容詞です。他の選択肢は、①「clean」が「きれいな」、②「old」が「古い」、③「wet」が「ぬれた」です。「dirty」と「clean」は反対の言葉なので、ペアで覚えると効果的です。

◆補足：「Wash your dirty hands.」は「あなたの汚れた手を洗いなさい。」という意味です。語順は「洗いなさい(Wash) → あなたの汚れた手を(your dirty hands)」です。動詞で文を始めると、命令や指示を表す文になります。

16.

解答 ④

【解説】

正解は④「wrong」です。「wrong」は、答えや行動が「間違った、正しくない」という意味の形容詞です。他の選択肢は、①「right」が「正しい」、②「bad」が「悪い」、③「hard」が「難しい、固い」です。「wrong」と「right」は正反対の意味を持つペアです。

◆補足：「I took the wrong bus.」は「私は 間違ったバスに乗りました。」という意味です。語順は「私は(I) → 乗った(took) → 間違ったバスに(the wrong bus)」となります。「take a bus」で「バスに乗る」という意味です。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①「速い、素早い」です。「quick」は、動作や反応にかかる時間が「速い、素早い」ことを表す形容詞です。よく似た単語に fast がありますが、fast は移動のスピードが速いことを指すことが多いです。②「遅い」は slow、③「静かな」は quiet、④「注意深い」は careful です。

◆補足：「Let's have a quick lunch.」は「急いで昼食をとりましょう。」という意味です。語順は「～しましょう(Let's) → とる(have) → 素早い昼食を(a quick lunch)」です。「quick」は「(時間をかけずに) 手早くすます」という意味で、食事や休憩などにも使われます。

18.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を覚えている、思い出す」です。「remember」は、過去の出来事などを記憶していて「覚えている」、または忘れていたことを「思い出す」という意味の動詞です。反対の言葉は①「～を忘れる(forget)」です。セットで覚えると良いでしょう。②「～を考える」は think、④「～を知る」は know です。

◆補足：「I remember your name.」は「私は あなたの名前を覚えています。」という意味です。語順は「私は(I) → 覚えています(remember) → あなたの名前を(your name)」です。覚えている内容を動詞の後ろに続けます。

19.

解答 ③

【解説】

正解は③「dance」です。「dance」は、音楽に合わせて「踊る」という動詞です。名詞として「踊り、ダンス」という意味もあります。他の選択肢は、①「sing」が「歌う」、②「jump」が「跳ぶ」、④「run」が「走る」です。どれも体を動かす基本的な動詞ですね。

◆補足：「Let's dance together.」は「一緒に 踊りましょう。」と誘うときの表現です。語順は「～しましょう(Let's) → 踊る(dance) → 一緒に(together)」です。「Let's + 動詞」の形で、気軽に相手を誘うことができます。

20.

解答 ①

【解説】

正解は①「(出来事が) 起こる」です。「happen」は、予期せぬ出来事や事件などが「起こる、生じる」という意味の動詞です。主語には人ではなく、物事や出来事がきます。②「～を経験する」は experience、③「～を見つける」は find、④「～を思い出す」は remember です。

◆補足：「What happened?」は「何が起こったのですか。」と尋ねる、とてもよく使われる表現です。何か事件や、いつもと違う様子を見たときに使います。このまま覚えてしまいましょう。

21.

解答 ②

【解説】

正解は②「(絵・線) をかく」です。「draw」は、鉛筆やペンなどを使って「(線を) 引く」ことや「(絵を) かく」ことを意味します。特に線でかく絵に使われます。①「(字) を書く」は write、③「(色) をぬる」は paint や color、④「(写真) を撮る」は take a picture と言います。

◆補足：「I like drawing pictures of animals.」は「私は 動物の絵をかくことが好きです。」という意味です。語順は「私は(I) → 好きです(like) → かくこと(drawing) → 絵を(pictures) → 動物の(of animals)」です。動詞に -ing をつけると「～すること」という名詞のような働きをします。

22.

解答 ②

【解説】

正解は②「両方」です。「both」は、二つあるものの「両方、どちらも」という意味を表す言葉です。

①「どちらか一方」は either、③「すべて」は all、④「何も～ない」は none や nothing です。数を表す言葉は文の中での使い方も大切なので、しっかり確認しましょう。

◆補足：「I like both dogs and cats.」は「私は 犬とねこの両方が好きです。」という意味です。「both A and B」の形で「A と B の両方」という決まった使い方をします。とても便利な表現なので覚えておきましょう。

23.

解答 ①

【解説】

正解は①「眠い」です。「sleepy」は「眠い」という状態を表す形容詞です。動詞の「sleep(眠る)」に y がついた形ですね。②「空腹な」は hungry、③「のどが渴いた」は thirsty、④「退屈な」は boring です。自分の状態を表す言葉をたくさん覚えておくと表現が豊かになります。

◆補足：「I feel sleepy after lunch.」は「私は 昼食の後、眠気を感じます。」という意味です。語順は「私は(I) → 感じる(feel) → 眠い(sleepy) → 昼食の後(after lunch)」です。「feel + 形容詞」で「～だと感じる」という気持ちを表せます。

24.

解答 ②

【解説】

正解は②「軽い、明るい」です。「light」は、重さが「軽い」という意味と、色が「明るい、薄い」、または光があって「明るい」という複数の意味を持つ重要な単語です。名詞として「光、明かり」という意味もあります。①「重い」は heavy、③「暗い」は dark、④「固い」は hard です。

◆補足：「This bag is very light.」は「このかばんは とても軽いです。」という意味です。また、「This room is light.」なら「この部屋は 明るいです。」という意味になります。文脈によって意味を判断しましょう。

25.

解答 ③

【解説】

正解は③「always」です。「always」は、頻度が 100%の「いつも、常に」という意味を表す副詞です。他の選択肢は、①「usually」が「ふだんは、たいてい」、②「often」が「しばしば、よく」、④「never」が「決して～ない」という意味です。

◆補足：「He always gets up early.」は「彼は いつも早く起きます。」という意味です。「always」は一般動詞 (gets up) の前に置きます。もし be 動詞の文なら、「He is always kind. (彼はいつも親切です)」のように be 動詞の後ろに置きます。

26.

解答 ③

【解説】

正解は③「料理する」です。「cook」は、食べ物を火などを使って「料理する」という動作を表す動詞です。名詞として「料理人」という意味もあります。①「食べる」は eat、②「洗う」は wash、④「買う」は buy です。どれも日常生活でよく使う動詞ですね。

◆補足：「I cook dinner for my family.」は「私は 家族のために夕食を料理します。」という意味です。語順は「私は(I) → 料理します(cook) → 夕食を(dinner) → 私の家族のために(for my family)」です。「for 〜」で「〜のために」という目的を表すことができます。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①「掃除する、きれいにする」です。「clean」は、場所を「掃除する」、物を「きれいにする」という動詞です。また、「きれいな」という形容詞の意味もあります。②「片付ける」は tidy up、③「飾る」は decorate、④「捨てる」は throw away などと言います。

◆補足：「Let's clean our room.」は「私たちの部屋を 掃除しましょう。」という意味です。語順は「〜しましょう(Let's) → 掃除する(clean) → 私たちの部屋を(our room)」となります。「Let's + 動詞」の形で、みんなで何かをしようと誘うときに使います。

28.

解答 ②

【解説】

正解は②「someday」です。「someday」は、未来のいつになるかははっきりしない「いつか、ある日」という意味の副詞です。夢や希望を語るときによく使われます。他の選択肢は、①「yesterday」が「昨日」、③「today」が「今日」、④「tomorrow」が「明日」と、特定の日を表す言葉です。

◆補足：「I want to go to France someday.」は「私は いつかフランスへ行きたいです。」という意味です。語順は「私は(I) → 〜したい(want to) → 行く(go) → フランスへ(to France) → いつか(someday)」です。未来の夢を話すときに便利な単語ですね。

29.

解答 ③

【解説】

正解は③「rainy」です。「rainy」は「雨の、雨降りの」という意味の形容詞です。名詞の「rain (雨)」に y がついて形容詞になっています。他の選択肢は、①「sunny」が「晴れの」、②「cloudy」が「曇りの」、④「snowy」が「雪の」と、どれも天気について話すときによく使う単語です。

◆補足：「It is rainy today.」は「今日は 雨です。」という意味です。天気や時間、距離などを言うとき、主語に「It」を使います。この「It」は特に意味はなく、「それ」とは訳しません。決まった言い方として覚えておきましょう。

30.

解答 ①

【解説】

正解は①「～がいなくて寂しく思う」です。「miss」は、遠くにいる人や亡くなった人などに「会えなくて寂しい」という気持ちを表します。この他に、バスなどに「乗り遅れる」や、ボールなどを「取りそこなう」という意味もあり、文脈によって意味が変わる大切な単語です。②「～を憎む」は hate、③「～を忘れる」は forget、④「～を待つ」は wait です。

◆補足：「I miss you.」は「あなたに会えなくて寂しいです。」という気持ちを伝える定番のフレーズです。家族や恋人、親しい友人に対して使います。このまま覚えてしまいましょう。

31.

解答 ②

【解説】

正解は②「わくわくさせる、興奮させるような」です。「exciting」は、物事が主語になり、人を「わくわくさせる、興奮させるような」という性質を表す形容詞です。①「わくわくした、興奮した(excited)」は人が主語のときに使います。③「退屈な」は boring、④「驚いた」は surprised です。-ing と-ed の使い分けはとても大切です。

◆補足：「The soccer game was very exciting.」は「そのサッカーの試合は とてもわくわくするものでした。」という意味です。主語が「試合(game)」という物事なので、-ing 形の exciting を使います。

32.

解答 ④

【解説】

正解は④「風の強い」です。「windy」は「風の強い、風が吹く」という意味の形容詞です。名詞の「wind (風)」に y がついた形ですね。①「暖かい」は warm、②「寒い」は cold、③「蒸し暑い」は hot and humid などと言います。

◆補足：「It was a windy day.」は「風の強い 日でした。」という意味です。語順は「それは(It) → でした(was) → ある風の強い日(a windy day)」です。このように、windy は day のような名詞を説明することができます。

33.

解答 ④

【解説】

正解は④「far」です。「far」は、距離が「遠い」ことを表す形容詞です。他の選択肢は、①「near」が「近い」、②「long」が「長い」、③「high」が「高い」です。距離や長さを表す言葉として区別して覚えましょう。「far」と「near」は反対の言葉です。

◆補足：「How far is it to the library?」は「図書館まで どれくらいの距離ですか。」と尋ねる文です。語順は「どれくらい遠い(How far) → ですか(is) → それは(it) → 図書館まで(to the library)」です。「How far...?」で距離を尋ねることができます。

34.

解答 ①

【解説】

正解は①「すでに、もう」です。「already」は、予想より早く何かが終わったときなどに「すでに、もう」という意味で使う副詞です。②「まだ」は yet (否定文) や still (肯定文)、③「ちょうど」は just、④「すぐに」は soon です。時を表す言葉は使い分けが大切です。

◆補足：「I already finished my homework.」は「私は もう宿題を終えました。」という意味です。語順は「私は(I) → すでに(already) → 終えた(finished) → 私の宿題を(my homework)」です。already は動詞の前に置かれることが多いです。

35.

解答 ③

【解説】

正解は③「sweet」です。「sweet」は、砂糖のような「甘い」味を表す形容詞です。他の選択肢は、①「salty」が「しょっぱい」、②「sour」が「すっぱい」、④「bitter」が「苦い」です。食べ物の味を表す基本的な単語なので、全部まとめて覚えておくとう便利です。

◆補足：「This cake is very sweet.」は「このケーキは とても甘いです。」という意味です。語順は「このケーキは(This cake) → です(is) → とても(very) → 甘い(sweet)」です。食べ物の感想を言うときに使えます。

36.

解答 ①

【解説】

正解は①「おかしい、こっけいな」です。「funny」は、思わず笑ってしまうような「おかしい、こっけいな」様子を表します。②「楽しい」という意味の fun と形が似ているので間違えないようにしましょう。③「悲しい」は sad、④「退屈な」は boring です。

◆補足：「That's a funny story.」は「それは おかしな話ですね。」という意味です。語順は「それは (That's) → 一つのおかしな話(a funny story)」です。面白い話を聞いたときの相づちとして使えます。

37.

解答 ③

【解説】

正解は③「outside」です。「outside」は、建物などの「外に、外で」という意味を表す副詞・前置詞です。名詞として「外側」という意味もあります。他の選択肢は、①「inside」が「中に」、②「here」が「ここに」、④「there」が「そこに」です。「outside」と「inside」は反対の言葉なので、セットで覚えましょう。

◆補足：「Let's play outside.」は「外で 遊びましょう。」という意味です。語順は「～しましょう (Let's) → 遊ぶ(play) → 外で(outside)」です。天気の良い日などに友達を誘うときに使えますね。

38.

解答 ②

【解説】

正解は②「professional」です。「professional」は、職業として何かを行う「プロの」、または高度な技術や知識を必要とする「専門職の」という意味の形容詞です。名詞として「プロ」そのものを指すこともあります。他の選択肢は、①「amateur」が「アマチュアの、素人の」、③「special」が「特別な」、④「popular」が「人気のある」です。

◆補足：「He is a professional baseball player.」は「彼は プロ野球選手です。」という意味です。語順は「彼は(He) → です(is) → 一人のプロ野球選手(a professional baseball player)」となります。日本語では「プロ」と略しますが、英語では professional と言うのが一般的です。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④「sometimes」です。「sometimes」は「ときどき、時々」という頻度を表す副詞です。他の選択肢も頻度を表す言葉で、①「always」が「いつも」、②「usually」が「ふだんは、たいてい」、③「often」が「しばしば、よく」です。頻度の高さの順で覚えておくと便利です (always > usually > often > sometimes)。

◆補足：「I sometimes go to the library.」は「私は ときどき図書館へ行きます。」という意味です。sometimes のような頻度を表す言葉は、一般動詞の前、be 動詞の後ろに置くのが基本です。

40.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を学ぶ、習う」です。「learn」は、新しい知識や技術などを「学ぶ」、または練習して「習得する」という意味の動詞です。②「～を教える」は teach、③「～を尋ねる」は ask、④「～を忘れる」は forget です。学習に関する一連の動作として覚えておくと便利です。

◆補足：「I want to learn about different countries.」は「私は いろいろな国について学びたいです。」という意味です。語順は「私は(I) → ～したい(want to) → 学ぶ(learn) → ～について(about) → いろいろな国(different countries)」です。「learn about ～」で「～について学ぶ」という表現ができます。

41.

解答 ②

【解説】

正解は②「～時ちょうど」です。「o'clock」は、時刻を表す数字の後ろにつけて、「～時ちょうど、～時きっかり」という意味を表します。分の端数がないときにだけ使います。①「～時ごろ」は about ～、③「～時すぎ」は after ～、④「～時まえ」は to ～などを使って表現します。

◆補足：「The meeting starts at nine o'clock.」は「会議は 9 時ちょうどに始まります。」という意味です。30 分などの端数があるとき、例えば「9 時 30 分」は「nine thirty」のように言い、o'clock はつけません。

42.

解答 ①

【解説】

正解は①「中間の」です。「medium」は、大きさや量などが「中間の」という意味の形容詞です。服のサイズで S, M, L の M は medium の頭文字ですね。②「小さい」は small、③「大きい」は large や big、④「特大の」は extra large です。

◆補足：「I want a T-shirt of medium size.」は「私は M サイズの T シャツが欲しいです。」という意味です。語順は「私は(I) → 欲しい(want) → T シャツが(a T-shirt) → M サイズの(of medium size)」です。お店でサイズを伝えるときに使える表現です。

43.

解答 ②

【解説】

正解は②「leave」です。「leave」は、ある場所から「去る」、電車などが「出発する」という意味の動詞です。「～を残す」という意味もあります。他の選択肢は、①「arrive」が「到着する」、③「enter」が「入る」、④「stay」が「とどまる、滞在する」です。動きを表す反対の言葉などとセットで覚えると効果的です。

◆補足：「The train leaves at ten.」は「その電車は 10 時に出発します。」という意味です。語順は「その電車は(The train) → 出発します(leaves) → 10 時に(at ten)」です。時刻のような一点を表すときは、前置詞 at を使います。

44.

解答 ③

【解説】

正解は③「始める、始まる」です。「begin」は、何かを「始める」、または何かが「始まる」という意味の動詞です。よく似た意味の start よりも少しだけ硬い、かしこまった響きがあります。①「終わる」は finish、②「続ける」は continue、④「待つ」は wait です。

◆補足：「The movie begins at seven.」は「その映画は 7 時に始まります。」という意味です。語順は「その映画は(The movie) → 始まります(begins) → 7 時に(at seven)」です。begin は不規則に変化する動詞で、過去の形は began になります。

45.

解答 ③

【解説】

正解は③「上手に、うまく」です。「well」は、動詞を修飾して「上手に、うまく、十分に」という意味を表す副詞です。形容詞として「健康で、元気で」という意味もあります。①「とても」は very、②「少し」は a little、④「いつも」は always です。

◆補足：「You speak English very well.」は「あなたは とても上手に英語を話しますね。」という意味です。語順は「あなたは(You) → 話します(speak) → 英語を(English) → とても上手に(very well)」です。「well」は good (良い) の副詞の形で、動詞（この場合は speak）の様子を説明します。

46.

解答 ②

【解説】

正解は②「～しましょうか」です。「shall」は、相手の意向を尋ねて「(私が) ～しましょうか」と申し出たり、「(一緒に) ～しませんか」と誘ったりするときに使う助動詞です。「Shall I ~?」や「Shall we ~?」の形で使われることがほとんどです。①は Can、③は must や have to、④は may で表現できます。

◆補足：「Shall I open the window?」は「(私が) 窓を開けましょうか。」と相手に申し出る表現です。もし相手が「はい、お願いします」と答えるなら「Yes, please.」、 「いいえ、結構です」なら「No, thank you.」と答えます。

47.

解答 ②

【解説】

正解は②「かわいい、きれいな」です。「pretty」は、人や物が「かわいい、きれいな」様子を表す形容詞です。beautiful よりも少し気軽なほめ言葉として使われます。また、「かなり、まあまあ」という意味で他の形容詞を強める副詞としても使われます。①「美しい」は beautiful、③「若い」は young、④「親切的な」は kind です。

◆補足：「What a pretty flower!」は「なんてきれいな花なんでしょう!」という感動を表す文です。語順は「なんて(What) → きれいな花(a pretty flower)!」です。「What a + 形容詞 + 名詞!」の形で、感動した気持ちを表現することができます。

48.

解答 ③

【解説】

正解は③「most」です。「most」は、「ほとんどの、大部分の」という意味で使われる形容詞です。他の選択肢は、①「all」が「すべての」、②「some」が「いくつかの」、④「many」が「多くの」という意味です。量を表す言葉として、それぞれのニュアンスの違いを理解しておきましょう。

◆補足：「Most students in my class like sports.」は「私のクラスのほとんどの生徒は スポーツが好きです。」という意味です。語順は「ほとんどの生徒は(Most students) → 私のクラスの(in my class) → 好きです(like) → スポーツが(sports)」です。

49.

解答 ④

【解説】

正解は④「send」です。「send」は、手紙や荷物、メールなどを「送る、送信する」という意味の動詞です。他の選択肢は、①「get」が「受け取る」、②「read」が「読む」、③「write」が「書く」です。手紙やメールに関する一連の動作として覚えておくと便利です。

◆補足：「I will send you an e-mail later.」は「私は 後であなたにメールを送ります。」という意味です。語順は「私は(I) → ～します(will) → 送る(send) → あなたに(you) → 一通のメールを(an e-mail) → 後で(later)」です。「will」を使うと未来のことを表せます。

50.

解答 ④

【解説】

正解は④「surprise」です。「surprise」は、予期しない出来事などで「～を驚かせる」という動詞です。名詞として「驚き」や「びっくりさせること」という意味もあります。他の選択肢は、①

「excite」が「～をわくわくさせる」、②「worry」が「～を心配させる」、③「please」が「～を喜ばせる」です。

◆補足：「The news surprised everyone.」は「その知らせは みんなを驚かせました。」という意味です。語順は「その知らせは(The news) → 驚かせた(surprised) → みんなを(everyone)」です。

「surprise」は「驚く」ではなく「驚かせる」という、相手に働きかける意味を持つことに注意しましょう。
